



2024年7月12日

各位

会社名 株式会社ラクト・ジャパン  
代表者 代表取締役社長 三浦 元久  
(コード：3139 東証プライム市場)  
問合せ先 IR広報部長 石黒 裕子  
(TEL. 03-6281-9752)

2024年11月期第2四半期(累計)連結業績予想と実績値との差異  
および通期連結業績予想の修正ならびに配当予想の修正に関するお知らせ

2024年4月12日に公表しました2024年11月期第2四半期(累計)連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、最近の業績動向を踏まえ、2024年11月期の通期連結業績予想および配当予想を修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2024年11月期の連結業績予想について

(1) 2024年11月期第2四半期(累計)連結業績予想と実績値との差異  
(2023年12月1日~2024年5月31日)

	売上高 百万円	経常利益 百万円	親会社株主に 帰属する 四半期純利益 百万円	1株当たり 四半期純利益 円 銭
前回発表予想(A)	80,000	1,800	1,300	130.44
実績値(B)	84,560	2,260	1,654	165.97
増減額(B-A)	4,560	460	354	
増減率	5.7%	25.6%	27.2%	
(ご参考) 前期実績 (2023年11月期 第2四半期)	80,450	1,344	922	93.17

(2) 2024年11月期通期連結業績予想の修正

(2023年12月1日～2024年11月30日)

	売上高 百万円	経常利益 百万円	親会社株主に 帰属する 当期純利益 百万円	1株当たり 当期純利益 円 銭
前回発表予想 (A)	160,000	3,400	2,400	240.90
今回修正予想 (B)	164,000	4,100	3,000	301.13
増減額 (B - A)	4,000	700	600	
増減率	2.5%	20.6%	25.0%	
(ご参考) 前期実績 (2023年11月期)	158,328	2,847	2,048	206.46

(3) 差異および修正の理由

2024年11月期第2四半期会計期間の業績につきましては、第1四半期会計期間に引き続き好調に推移しました。国内事業においては、インバウンドを含めた旅行需要などが盛り上がり、業務用を中心に各種食品の需要が回復傾向となったことに加えて、プロテイン製品の市場拡大が続き関連する原料の販売が順調に進んだことなどから、乳原料・チーズ部門の販売数量が増加しました。食肉食材部門においても、外食需要の回復などにより販売数量は予想を上回りました。また、アジア事業においてもシンガポール、マレーシアを中心に外食向けなどでチーズの販売が好調となったことから当第2四半期累計期間の売上高は想定以上の着地となりました。

利益につきましても、国内事業の乳原料・チーズ部門において利益率の高い商品の販売数量が増加したことに加えて、アジア事業においても、乳原料販売部門、チーズ製造販売部門ともに前期比で利益率が改善したことから当第2四半期累計期間の経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに、2024年4月12日に公表した修正予想を大幅に上回りました。

通期の連結業績につきましては、円安進行や食品価格上昇による消費動向への影響、足元増産傾向となっている生乳生産が国内脱脂粉乳在庫に及ぼす影響など懸念材料もあるものの、第2四半期累計期間の実績値および下半期の受注動向を勘案し、業績予想を上方修正いたします。

## 2. 配当予想の修正について

### (1) 期末配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末 円 銭	期末 円 銭	合計 円 銭
前回発表予想	—	31.00	62.00
今回修正予想	—	45.00	76.00
当期実績	31.00	—	—
(ご参考) 前期実績 (2023年11月期)	24.00	24.00	48.00

### (2) 修正の理由

当社は、株主の皆さまに対する適切な利益還元を重要な経営課題のひとつと位置付けております。剰余金の配当につきましては、将来の成長に向けた事業展開と経営基盤強化のために必要な内部留保を確保しつつ、配当性向の向上に取り組むことを基本方針としております。

上記方針および通期業績予想の修正に基づき、当事業年度の配当予想について前回発表予想の修正を行うものであります。

\*上記の業績予想は、現時点における入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後のさまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上